



消防署からのお知らせ



過去最多を記録！



大月市消防署の救急出動は、昨年、1500件を超えて大月市の統計史上最多となりました。また、先月7月の出動は162件で、こちらも1カ月としては最多を記録しました。

救急出動があまりにも増えると救急隊の対応が間に合わなくなり、現場への到着時間が遅くなってしまいます。その結果、重症者への対応が遅れる、という事態にもつながりかねません。

そのため、大月市消防署では、軽症による救急車の利用など緊急性のない通報を控えていただき、必要な人が必要なサービスを受けられるよう、救急車の適正利用をお願いしています。

・#7119・って十二？



病院へ行く？救急車を呼ぶ？
・・・迷ったら

 **#7119**

急なケガや病気をしたとき、救急車を呼んだ方がいいか、今すぐに病院に行った方がいいかなど、判断に迷うことがあると思います。

そんなとき、専門家からアドバイスを受けることができる電話相談窓口が救急安心センター事業（#7119）です。

救急安心センター事業（#7119）に寄せられた相談は、電話口で医師、看護師、相談員がお話を伺い、病気やケガの症状を把握して、救急車を呼んだ方がいいか、急いで病院を受診した方がいいか、受診できる医療機関はどこか等を案内します。

こ・え・か・け・で予防・・・



毎日、異常な暑さが続いています。先月7月には18名の方が熱中症になり救急搬送されています。熱中症とは、気温や湿度が高かったり体調不良だったり、水分・塩分の不足などが原因で、体温の調節ができなくなって現れる様々な症状（体温上昇、めまい、けいれん、頭痛など）のことです。

熱中症を予防するには、次のようなことに気を付けましょう。

- こ・こまめな水分補給暑（のどが渇く前に水分補給・塩分補給も忘れずに）
- え・エアコンを活用しよう（熱中症の5割は屋内で発生）
- か・快適な環境づくり（室温は28℃を 暑さを避ける日陰、日傘、屋内を利用）
- け・健康管理をしっかりと暑さに備えた体づくり（適度な運動・睡眠）

まだまだ続いています！

感染症拡大防止に
ご協力ください



今年の夏も再び陽性者が再び増加傾向にあります先月7月には10件のコロナ陽性患者を救急搬送搬送しました。

新型コロナウイルス感染症の感染予防には、「換気」「手洗い・手指消毒」などの基本的な感染対策が有効です。特にエアコンにより部屋を閉め切りにしていますが換気をして予防しましょう。

帰省等で高齢者の方と会う場合や大人数で集まる場合は、感染予防を心がけ体調を整えるようにしましょう。引き続き感染対策をお願いします。



問い合わせ
大月市消防署
救急担当
TEL 22-0119

